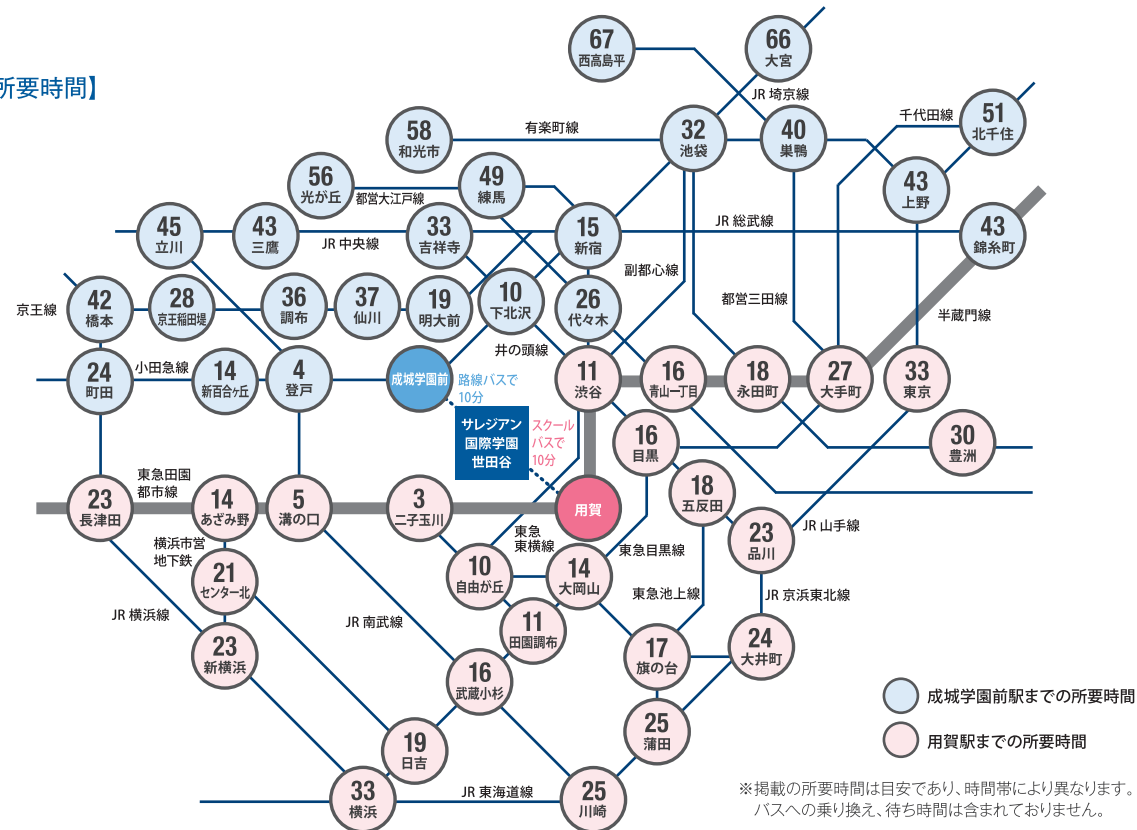


Access

【学校への所要時間】

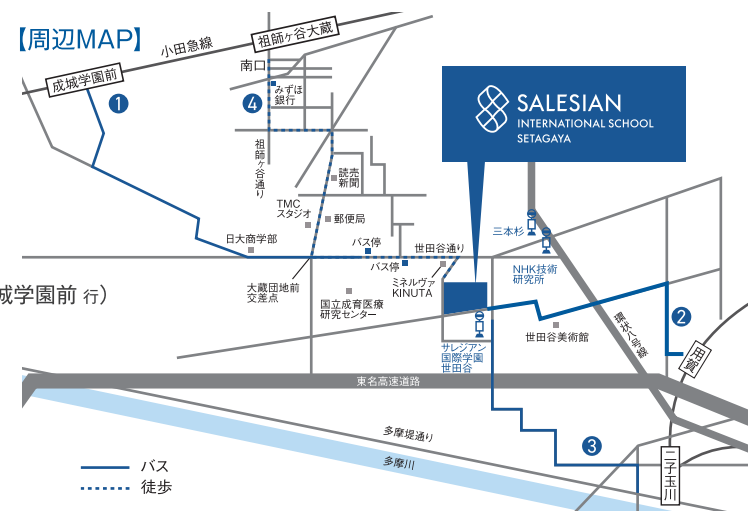


【最寄駅】

成城学園前駅		渋谷 行	「成育医療研究センター前」 「NHK技術研究所」下車徒歩3分
成城学園前駅	用賀 経由	等々力操車所 行	
渋谷駅		成城学園前 行	
二子玉川駅	成育医療研究センター 経由	成城学園前 行	「サレジアン国際学園世田谷」下車すぐ
用賀駅		成城学園前 行	
田園調布駅	上野毛 経由	千歳船橋 行	
			「三本杉」下車徒歩10分

【バス路線】

- | | |
|--------------------|-------------------------------------|
| ① 小田急線
「成城学園前」 | バス10分
(渋谷・等々力操車所・用賀 行) |
| ② 田園都市線
「用賀」 | スクールバス10分 |
| ③ 田園都市線
「二子玉川」 | バス15分
(玉31・成育医療研究センター経由 成城学園前 行) |
| ④ 小田急線
「祖師ヶ谷大蔵」 | 徒歩20分 |



サレジアン国際学園世田谷中学高等学校

SALESIAN INTERNATIONAL SCHOOL SETAGAYA

〒157-0074 東京都世田谷区大蔵2-8-1

TEL:03-3416-1150 FAX:03-3416-3899

<https://salesian-setagaya.ed.jp>



サレジアン国際学園
世田谷中学高等学校

SALESIAN INTERNATIONAL SCHOOL
SETAGAYA

ARグラス

Regular Class

PBL

プロンプトエンジニアリング

ゲノム医療

量子コンピューター

デジタルネイティブ世代

GUIDE BOOK 2026



世田谷中学高等学校

SALESIAN INTERNATIONAL SCHOOL
SETAGAYA

ARグラス

Regular Class

PBL

プロンプトエンジニアリング

ゲノム医療

量子コンピューター

デジタルネイティブ世代

GUIDE BOOK 2026



真の主体性を身につけ 真の自由を手に入れよ

INDEPENDENCE LEADS TO FREEDOM

不確実な時代、多様化する社会。
いつどんな壁にぶつかっても、真っ先に手を挙げられる人に。
自分の使命を見だし、他者と手を取り合って物事に取り組める人に。
多様な価値観に触れながら「考え続ける力」を育む、サレジオン国際学園世田谷での6年間。
一人ひとりが真の主体性を身につけたとき、ダイバーシティの世の中を生き抜く力を
身につけたとき、目の前には見たことのない景色が広がります。
変わりゆく現代社会を生きる中で揺るぎない生き方を見つけたあなたは、
限りない真の自由を手にするのです。

CONTENTS

めざす教育	03
PBL型授業	05
思考型授業	07
英語・国際教育	09
数学・科学リテラシー	11
本科クラス	13
MEDICO	19
インターナショナルクラス	21
留学制度	27
進路サポート	28
クラブ活動	29
学校生活	31
学習環境	33
制服	35
保護者のみなさまへ	36
学園長／学校長より	37
沿革	38

21世紀に活躍する力、 「世界市民力」を 育む

先行きが見えない時代にあっても、未来に向けて羽ばたける力を一人ひとりに。

サレジオン国際学園世田谷は「世界市民力」を育んでいきます。

いままで経験したことのない問題に直面したときに、それらの解決法を主体的に見いだす「考え続ける力」、グローバル社会で他者と意志を通わせるための「言語活用力」、協働・共創をするための「コミュニケーション力」、常に科学的に思考し、判断できる「数学・科学リテラシー」、そしてカトリック・ミッションスクールとしての「心の教育」。これら5つの柱を据え、それぞれの力を伸ばしていく「世界市民力」育成のための教育プログラムを展開します。



※ PBL(=Problem Based Learning)とは、
問題解決型の学習法です。

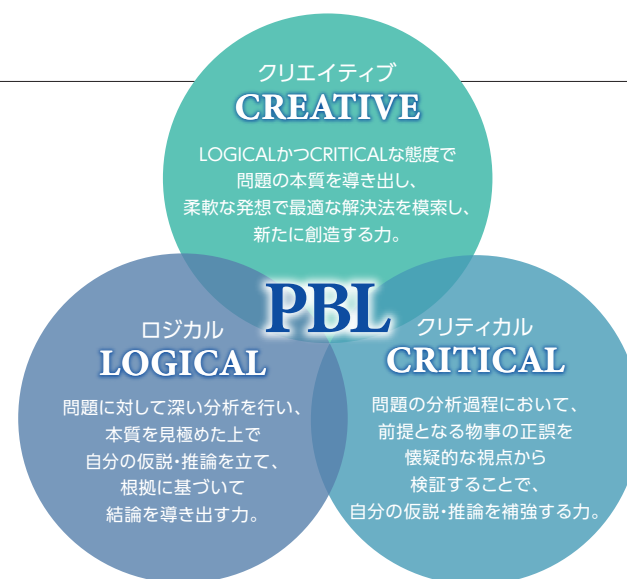
PBLが育む自ら学び考え続ける力

本校では、すべての教科でPBL型授業を取り入れています。
知識を詰め込むだけの授業ではなく、自ら問題を分析して課題を解決することを重視した「生徒が主体となる学習」によって、「考え続ける力」を培います。必ずしも正解が1つではない複雑な問題の解決に向けたチャレンジは、生徒の学びに対する意欲と論理的思考力を高めます。
加えてPBL型授業ではディスカッションの機会を多く設けており、これを積み重ねることでコミュニケーション力に磨きをかけていきます。
思考や表現を実践的に学ぶPBL型授業によって、生徒は自身の知識を深い理解のステージへと進めます。意欲と理解をつなぐこうした取り組みが、生徒の思考を駆動させる原動力になるのです。



PBLで育まれる3つの思考力

PBL型授業では、生徒の思考力を構成する「LOGICAL」「CRITICAL」「CREATIVE」の3要素を飛躍的に伸ばします。
授業は生徒が初めて直面する問題に対して、その本質を分析することから始まります。そこから論理的に筋道を立て、自らの意見を構築していくLOGICALな思考。物事の前提や常識とされる現象を疑う視点を持つことで、問題に対するより深い理解や考察を身につけるCRITICALな思考。そしてこれら2つの思考を統合し、多角的な視点から、問題の本質を損なうことなく新しい解決方法を生み出すCREATIVEな思考。
PBL型授業が伸ばす思考の3要素は、21世紀の社会で複雑に絡み合った問題や予測できない物事に取り組む当事者、つまり「世界市民」として活躍するために必要な能力です。



PBL型授業 紹介

理 系

小さな積み重ねで探究の扉を開く

地道な観察を重ねていくと、さまざまなデータが取れます。そのデータから一貫した仮説を立て、それが真といえるかどうかを確かめることは科学における探究です。では、その仮説が2つ生じたとしたらどうでしょうか。どちら

の仮説を優先的に検討すべきか、探究の中で新たな問いをどのように設定するかを実践的に思考します。



文 系

学びと課題をつなぐ問い

実社会で起こるさまざまな事象には、複数の要因が絡み合っています。観光というレンズで国際社会と地域を見つめると、1つの大きなテーマとして外国人観光客という言葉が浮かび上がってきます。外国人のニーズは何か？

地域の魅力と観光とは？ さまざまな角度から考え、選択肢を広げていくと社会課題の本質が見えてきます。



美 術

言葉を超えて、心を動かす

現代社会を取り巻く社会課題は非常に複雑で、ステークホルダーたちの力関係のもとで身動きがとれなくなっているものが多数あります。どんな時代においても、そういった社会課題に対し、作家が一人の人間としての私た

ちの感性に訴えかけてきたのがアートです。生徒は課題について調査し、アートという非言語のコミュニケーションのかたちで人々に気づきを与え、行動変容を促すアートを実践的に創作します。



Student's Voice

「PBL型授業ってなんだろう」
初めてPBL型授業という言葉聞いたとき私はそう口にしました。入学してから1年がたち、私は中学2年生になりました。科目ごとにあるPBL型授業。PBL型授業では今までの授業では習ったことのない答えのない問いへの理解から解答まで自分で考えるため、クラス内で全く同じ解答があがることはありません。初めは話し合いも発表も空回りばかり。うまくいかず失敗も多くありました。しかし、授業を

重ねていくうちに資料からの読み取りやプレゼンテーション能力が上達し、初めてPBL型授業を体験したあの日から「主体的に学ぶ力」と「魅力的に伝える力」が成長していると実感しています。また、個人作業だけでは得られないような試行錯誤の共有、クラスメイトからの刺激が私自身への奇想天外な発想や柔軟性向上を手助けしてくれたに違いありません。これからのPBL型授業でも成長し続けることが出来たら良いなと思っています。



本科クラス2年 R.Sさん

学習の流れ

Step 1 問いの提示

Step 2 個人
ブレインストーミング

Step 3 グループ内
プレゼンテーション

Step 4 クラス内
プレゼンテーション

Step 5 最終レポート

越境する学び、つながる思考

学びの境界に橋を架ける、新しい知のかたち

知識の集積では終わらせない。本校が重視するのは、知識をつなぎ、意味づけ、応用していく“思考の越境”です。

教科はあくまで出発点。現実社会の課題は、単一の分野や視点では捉えきれない複雑さをもっています。だからこそ本校では、日々の授業の中でPBL型授業を取り入れ、教科の枠を越えて「本質に迫る問い」に対峙し、探究する力を育んでいます。生徒たちは、知識と知識のあいだを行き来しながら、多角的に考え、他者と対話し、思考を深めていきます。

そこでは、「なぜ学ぶのか」「この知識はどこにつながるのか」といった「知ることの意味」を問い続ける姿勢が何より大切です。与えられた

正解を覚えるのではなく、自ら問いを立て、意味を発見し、仮説を構築していく。そうした学びのプロセスが、教科ごとの学習を“点”ではなく“線”としてつなげ、理解に深さと広がりをもたらします。

こうした越境的な思考の積み重ねは、単なる知識の取得を超えて、社会にどう関わり、どのように貢献するかという視点へとつながっていきます。本校がめざすのは、変化の激しい時代にあって、知を活かし、複雑な現実に向き合う力を持つ、しなやかで芯のある学び手の育成です。

学びの境界に橋を架ける。つまり、本質を問い、越境し、未来を拓くことが私たちの学びです。



長期休暇中の探究講座(希望者向け)

Qubic Bridge

夏期と冬期の長期休暇では、ふだんの授業では踏み込めない深い探究・思考の世界へ教員とともに分け入っていきます。ふだんの学びがどのようにして深い学問の世界、あるいは社会における価値創造につながるのか、講座を通して授業と現実社会における実践の橋渡しに挑戦します。

講座一覧(2024年7・8月の実施例)

No.	講座名	開講対象者	使用言語
1	Intensive Intermediate English Preparation Class	2年インター Standard→Intermediate生徒	English
2	Intensive course for Intermediate students joining Advanced	2年インター Standard→Intermediate生徒	English
3	Recitation Course	1～2年インター Advanced	English
4	Creative Writing : Poetry Focus	1～2年インター Intermediate, Advanced	English
5	The Literary World of Taylor Swift	1～6年	English
6	Python And Web	1～6年	Combination
7	Intermediate Bridge Course	1年本科, 1年インター Standard→Intermediate生徒	English
8	Beginner Speech Recitation Course	1年本科, 1年インター Standard	English
9	標本学 ～ヴンダーカンマー(驚異の部屋)への道～	1～6年	日本語
10	Speak Up & Act Out!	1年本科	Combination
11	ヨーロッパと日本の邂逅 ～16世紀の日本から「サレジオン流 国際交流」を考える～	1～6年	日本語
12	未来の交通を創る! 乗合デマンド交通推進プロジェクト	1～6年	日本語
13	中学生からの数学オリンピック入門講座	1～5年	日本語
14	私の主張	1～5年	日本語
15	Eiken 3, 2.5, 2 Interview Practice	1～2年本科	Combination
16	EIKEN Writing Preparation Class	1～6年	English
17	EIKEN Pre-1 Vocabulary Intensive	1～6年	English
18	「LiDAR／3Dガウス・スプラッティング」×「歴史学・考古学・地理学」	2～6年	日本語
19	Scientific Skills and Fair Testing	2年インター Advanced	English
20	Scientific Investigation - The Fall of Humpty Dumpty	1年インター Intermediate, Advanced 2年インター Intermediate	English
21	数学体験 ～数の美を探る旅～	1～6年	日本語
22	English Drama	1～2年インター Standard, Intermediate	English

Student's Voice

探究講座に参加する前は、「夏休みに学校に行くななんて損かも」と思っていました。でも実際は、普段の授業では学べない専門的な内容にふれ、考えを深める時間がとても新鮮で楽しかったです。また、初めて会う人たちとの交流を通して、自分とは違う

視点に出会えたことも大きな学びでした。いくつかの講座に参加したことで、自分の世界が広がったと感じています。このような特別な機会だけでなく、日常でも考えを深められる学びを大切にしていきたいです。



本科クラス3年 K.Aさん

学園全体が英語環境

Diversity & Inclusion

教室内、廊下、カフェテリア、体育館、職員室と私たちの学園では至る所で英語が飛び交っています。生徒同士、生徒と教員、教員と教員。ここでは英語がコミュニケーションツールなのです。

本科クラスもインターナショナルクラスも、英語の授業は英語で学びます。英語で論理的に思考し、自分の考えを英語で発信できるようになることをめざしています。多様な価値観に触れ、刺激し合いながら学ぶ環境が整っている学園生活の中で、良質な批判的思考と創造的思考が身につくように指導します。将来的に場所を問わず国際社会で活躍できる人を育てていきます。



学内留学制度

Salesian On-Campus Study Abroad Program

この制度では、本科クラス生全員が各クラス数名ずつ一日インターナショナルクラスのAll EnglishによるHRと授業を体験します。インターナショナルクラスにはバディシステムがあり、インターナショナルクラスの生徒にとっては本科クラス生のバディとして、言語面をはじめさまざまな面で支え貢献する姿勢を養うことにもつながります。日常的に英語が飛び交うインターナショナルクラスの圧倒的な英語環境を本科クラス生が体感することで、英語力の飛躍と多様性の実感、世界市民としての礎が培われます。またキャリア教育の面からも、中学の早い段階から英語環境に身を置くことで、将来的に進路選択の幅が広がります。



学術誌「ジャーナル」創刊

Journal of Salesian International School Setagaya (JSISS) Our slogan: Critical Eyes to See the World

授業をはじめとする学校生活を通して、生徒はロジカル、クリティカル、クリエイティブな思考を身につけ、グローバル社会で活躍し世界に貢献する力を高めています。教科書の枠を超えて生徒の知識を広げ、深めていくことは、学びの意欲をさらに高めるために重要なことです。そこで私たちは、社会科学や自然科学などの学際的な分野において、生徒がクリティカルな論文やクリエイティブな作品を共有する場として「ジャーナル」を創刊しました。

論文のテーマは自由ですが、語数は500～2,000語程度、提出条件は英語で書かれた論文であること、独創的で革新的なアイデアを持つ秀逸な論文のみが掲載の対象となります。本校に在籍する生徒ならば本科クラス／インターナショナルクラスや学年を問わず誰でも提出することが可能です。2024年度は9名の生徒の論文が選ばれました。



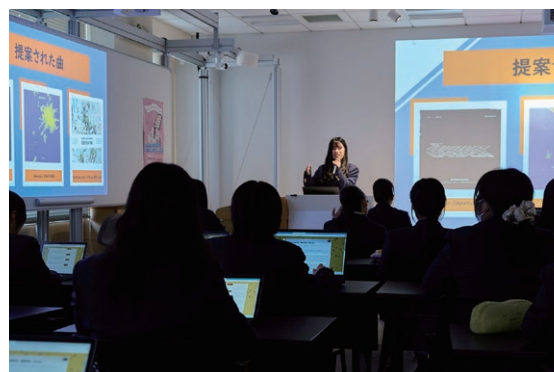
多様なバックグラウンドを持つ インターナショナルティーチャー

さまざまなバックグラウンドを持つ18名のインターナショナルティーチャーがサレジオン1～3期生を担当しています。本科クラス・スタンダードでは英語の授業を担当し、アドバンストでは英語・数学・理科・社会をオールイングリッシュで授業を行います。また、探究授業(SAP)のプログラム作成や進路指導も担っています。インターナショナルクラスではホームルームの担任として生徒の学園生活を見守り、世界市民力育成のために日々指導しています。



進化する社会と自分をつなぐ教養

現代社会で起こるさまざまな問題を解決する糸口は、論理的思考に基づく判断力です。膨大な情報の中から必要なものを選んで活用・分析する能力や、仮説・実験・検証など一連の科学的アプローチを通して思考のプロセスを身につけていくことで、論理的思考力を養います。数学・科学リテラシーは、進化し続ける現代社会と自分自身をつなぐ必要不可欠な教養です。



次世代をリードする 人材の育成



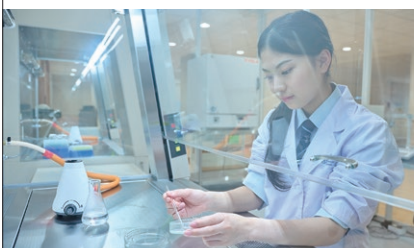
学校教育におけるICTが定着した今、AIをどう教育に活用していくかが問われています。さまざまなコンテンツがAIで作れるようになり、AIの「活用力格差」は今後顕著になっていくでしょう。本校では、次のAI時代をリードする人材の育成に積極的に取り組んでおり、AIによる学びの最適化と見える化を目的とした教材を選定し、生徒によるAI活用と研究を促す授業を実施しています。

探究活動に最適な 空間を構築



学習内容にあわせてフレキシブルに教室のレイアウトを変更でき、大画面を使用したプレゼンテーションの場を用意。PCルームは、教室の3面に映像が投影でき、ラップトップ型PCを50台完備。音楽室はグランドピアノを配置しながら教室の前方と後方の壁を全面スクリーンとすることで、探究活動だけでなく、音楽コンサートを演出する場としても活用できます。

サイエンスに親しめる 充実の環境



3つの理科室のほか、生徒がゼミをはじめとする探究活動で自由に使用できる「ラボ」も併設。これらの教室や空間のいずれにも専門性の高い機器が導入されています。生徒は研究テーマに応じて教室や設備を使い分けることのできるサイエンス環境を最大限に活用しながら、自身の好奇心と探究心の赴くまま深い学びの中に没頭することができます。

6 years Roadmap

本科クラス

研究者たる姿勢で学ぶ6年間

本科クラスは、「熱く探究する生徒」の育成をめざします。軸となるのはPBL型授業とゼミ。ゼミでは学年の枠だけではなく、学問の枠組みさえも超えて、生徒個人の「熱意」に火をつけ、生涯の探究課題を見つけていきます。一人ひとりが主体的に課題を見つけ、4年間かけてそれに取り組むことで、本校が掲げる5つの柱を体得していくことになります。本科クラスには「生徒の本気を引き出す」本気の先生が待っています。

本科クラス 6年間の学び

中学			高校		
1年	2年	3年	4年	5年	6年
性格 を知る	職業 を知る	大学 を知る	学問 を知る	己 を知る	哲学 を知る
・「本科」に込めた ビジュアルイメージ ・12年後の自分	将来の私たちを 支える職業を知る 校外学習	関西探究合宿		学問を「修める」 探究合宿	
探究	プレゼミ	ゼミ		ゼミEX	
	校外学習	学校内外でのポスターセッションなど		外部コンテストやコンクール	
	MEDICO				

→ 高校進学時にコース変更可 条件あり

国内国公立大学
難関私立大学・理系大学

インターナショナルクラス

Are You Ready for Your Next Challenge?

インターナショナルクラスでは、真の世界市民として「グローバル社会で活躍できる人」の育成をめざします。英語による論理的・批判的・創造的な思考を深めながら、それを表現し発信する力を育てます。帰国生などすでに高い英語力を持つ生徒と、これから英語力を身につけたいという強い意欲を持つ生徒が学園生活の中で刺激し合い、多様性を認め合いながら、豊かな国際感覚を身につけていきます。

インターナショナルクラス 6年間の学び

	Year 1	Year 2	Year 3	Year 4	Year 5	Year 6
Career Educational Goal インターのキャリア 教育目標	Learning about Myself (Get to know yourself) 自分を知る	To Learn about University Education Abroad 海外の大学教育を知る	Seeing the World/Exploring Various Occupations/Career Planning 世界を渡る/さまざまな職 業を知る/キャリア計画	Deepen your Studies/Career Planning 研究を深める/ キャリア計画	Deepen your Philosophy/Career Planning 自分の哲学を深める/ キャリア計画	Setting out into the world as a Global Citizen 世界市民として 社会に出る
SAP Theme/Goal SAPの テーマとゴール	Cultural Studies and Globalization 文化学	Environmental issues 環境問題	Societal and Global Issues 社会問題	Build Basic Research Skill 基本的な研究スキル を身につける	Develop Full Research Project/Write an academic paper 研究プロジェクトを 立ち上げ、論文を執筆	
Study Abroad Program 海外研修プログラム*			シドニー研修 (インター必須) カナダタム留学	アメリカ キャリアツアー/ シンガポール スタディー ツアー	長期留学 (アメリカ/イギリス/ カナダ/オーストラリア)	
English Qualifications 英語資格	TOEFL Junior 年2回校内受験/英語検定対策など			TOEFL/IELTS/SAT/英語検定対策など		

*シドニー研修以外は、本科・インターともに全て任意

→ 高校進学時にコース変更可 条件あり

海外大学・国際教養系大学

本科生よ、 狂いたまえ。

幕末、吉田松陰は弟子にこう語ったのです。
「諸君、狂いたまえ」と。
幕末との類似性は、VUCA[※]の時代ということ。
この時代に活躍するために必要なのは、突き抜けた発想と行動力です。

※4単語 (Volatility／Uncertainty／Complexity／Ambiguity) の頭文字をとった造語で、先行きが不透明かつ将来の予測が困難な状態を指す。

時間割

	月	火	水	木	金	土
1	英語A	体育	美術	英語A	体育	国語
2	英語A	国語	美/音	国語	英語A	音楽
3	数学	英語A	体育	国語	LHR	社会A
4	数学	社会	技術・家庭	社会	英語B	理科
5	英語B	プレゼミ	数学	数学	数学	
6	宗教	プレゼミ	数学	理科	理科	
7	技術・家庭		理科	英語B		

Pick UP!

英語 週8時間

- ・5時間がIT(インターナショナルティーチャー)によるオールイングリッシュ授業
- ・3時間がJT(日本人教員)による授業

カリキュラム

	1年	2年	3年
国語	4	4	5
数学	6	5	5
社会	3	4	4
理科	4	4	4
音楽	1.5	1.5	1.5
美術	1.5	1.5	1.5
保健体育	3	3	3
技術・家庭	2	2	2
英語	8	8	8
宗教	1	1	1
総合(ゼミ)	2	2	2
ホームルーム	1	1	1
合計単位数	37	37	38

4年	
現代の国語	3
言語文化	2
地理総合	2
歴史総合	2
数学I	4
数学A	2
化学基礎	2
物理基礎	2
生物基礎	2
英語コミュニケーションI	4
論理・表現I	3
宗教	1
体育	2
保健	1
情報I	2
総合(ゼミEX)	2
ホームルーム	1
音楽I	
美術I	2
書道I	
合計単位数	39

5年			
文系		理系	
論理国語	3	論理国語	2
英語 コミュニケーションⅡ	5	英語 コミュニケーションⅡ	5
論理・表現Ⅱ	3	論理・表現Ⅱ	3
宗教	1	数学Ⅱ	4
公共	2	数学B	2
体育	2	数学C	2
保健	1	化学	4
家庭基礎	2	宗教	1
総合(ゼミEX)	2	公共	2
ホームルーム	1	体育	2
現代文演習(2)・ 英語演習(2)	4	保健	1
		家庭基礎	2
数学Ⅱ	4	総合(ゼミEX)	2
古典研究		ホームルーム	1
数学B(2)・ 国立古典(2)	5	物理	4
日本史探究		生物	2
世界史探究		国立古典	
理科基礎演習	2	数学演習	
数学ⅠA演習		合計単位数	39
情報Ⅱ	2	※各クラスの 今後、変	
音楽Ⅱ			
美術Ⅱ			
書道Ⅱ			
合計単位数	39		

6年			
文系		理系	
論理国語	2	論理国語	2
文学国語	4	英語 コミュニケーションⅢ	5
古典演習	4	論理・表現Ⅲ	4
英語 コミュニケーションⅢ	5	宗教	1
論理・表現Ⅲ	4	体育	3
英語演習	3	ホームルーム	1
宗教	1	数学ⅠA演習(4)・ 数学ⅠBC演習(5)	9
体育	3	数学Ⅲ(7)・ 数学演習(2)	
ホームルーム	1	化学(5)	
日本史探究		英語演習(3)・ 総合型対策(2) or 情報演習(2)	5
世界史探究	4	物理(5)	
政経(2)・倫理(2)		生物(5)	
日本史演習		英語演習(3)・ 総合型対策(2) or 情報演習(2)	5
世界史演習	2	合計単位数	35
数学演習Ⅰ			
音楽Ⅲ			
美術Ⅲ			
書道Ⅲ			
国語演習			
数学演習Ⅱ	2		
理科基礎演習			
合計単位数	35		

※各クラスの学習内容およびカリキュラムは2025年4月現在のものです。今後、変更になる場合がありますことご了承ください。

ゼミでの探究学習について

ゼミとは、生徒自らがテーマを設定して研究に打ち込む個別の探究活動のことで、1年の「プレゼミ」、2～3年の「ゼミ」、4～5年の「ゼミEX」という3段階に大別されます。
1年の「プレゼミ」では、今までの勉強とは違う「学問とは何か」や、研究のベースとなる手法などについて学びます。2～3年の「ゼミ」では

生徒自身が熱意をもって取り組むことのできる探究テーマを決めてリサーチを進め、4～5年の「ゼミEX」ではこれをさらに深化させます。
ゼミの進展と探究シーンに応じて、サレジアンの教員は柔軟に立場を変えながら、生徒の熱い想いを支えていきます。

1年生	2～3年生	4～5年生
プレゼミ	ゼミ	ゼミEX
1年間かけて、一人ひとりが「熱く研究できるテーマ」を追求できるようにプログラムを組みます。探究・研究の作法を学び、自分が本当に好きなことを深掘りし、探究する1年です。	志望理由書をもとに決定したゼミに所属し、個人のテーマに基づいて探究・研究を進め、学園祭やポスターセッションでさらに尖った研究へと磨きをかけていきます。	外部のコンテストなどに参加したり、外部のポスターセッションに参加し、課題を浮き彫りにしてより尖った研究へと昇華させていきます。

プレゼミ

1 年次

勉強とは違う「学問」を体感するために

今までは「この答えを出してください」と問いが与えられて、決められた答えを導く「勉強」をしてきました。しかし、VUCAの時代において世界に貢献する人に求められるのは、自ら問いを設定して徹底的に追求・考え続ける姿勢です。

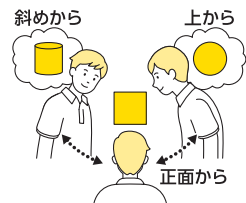
本科のゼミは生徒の内から湧き出る熱意に基づいて、研究を進めます。

4タームに分かれた段階的な学び

Aターム

多面的に捉える

- 1つの物事も、視点を変えれば見え方が異なる



1つの物事(ニュースなど)をゼミの3つの学問領域から見たとき、どのような課題や視点が浮かび上がるかを考えるワークショップ

Bターム

発想を広げてぶつける

- 思考を発散させる
- お互いのアイデアが化学反応する

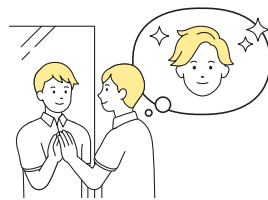


キーワードを設定し、そのキーワードと学問領域を掛け合わせると、どういった視点が生まれるかを考える「かけ算ワークショップ」

Cターム

“自分”の解像度をあげる

- 自分の興味や惹かれるものを知る
- 深めることを楽しむ



生徒自身の興味関心に基づき、どこに軸足を置くかを見極めながら、それぞれが選んだテーマを学問的に深めていく体験

Dターム

探究の入り口に立つ

- 1年間の学問体験から軸を定める



生徒が提出した所属希望ゼミの志望理由や、ゼミでの探究テーマについて面談。ミスマッチを防ぎながら、興味の根っこを探る

校外学習

本科クラスの校外学習は、学年ごとに設定したキャリアの目標やプレゼミ・ゼミのあり方にリンクした形で深い学びができるように設定しています。例えば1年次は、物事を科学的に見る・考える態度を養うために、校外学習で科学館を訪問します。日頃何気なく享受している「科学」に足を止めて考え、社会との繋がりを考えます。11月には筑波を中心とした「探究合宿」。「未来を描く先端(ふでさき)を見る」などをテーマに、学問・研究の最前線に身を置き、ゼミに所属して「研究者になる」準備をします。3年次には「関西探究合宿」。ゼミでの個人探究のテーマなどを縦軸に、「伝統と革新」を横軸にしながら、自身の研究がどのように社会に貢献できるかを考えます。



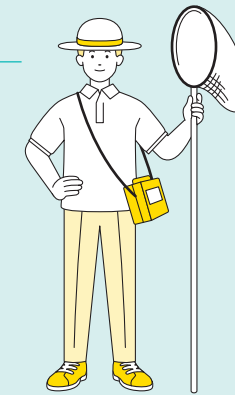
ゼミとのマッチング

1年生の3学期には、各自の興味関心に基づいてゼミを選び、600字以上の志望理由書を提出します。1年生で「志望理由書」を書くことは、ハードルが高いと感じられるかもしれませんが、このプロセスは非常に大切だと感じています。2年生から5年生まで同じゼミに所属し続け、失敗や挫折を味わいながら研究を進めます。そうしたとき、折れずに研究を進めるために必要な要素は、研究への明確な熱意です。

ですから、生徒たちとゼミ担当教諭の間で何度もやりとりを行いながら、一人ひとりが本当にやりたいことを探り、心に火をつけていきます。研究テーマが決まった生徒は「探究宣誓」のパワーポイントを作成します。研究テーマとその理由、さらに研究する上で守るべきことを考えて発表。いよいよ生徒は一人の研究者としての道を歩み始めるのです。

興味とゼミのマッチング例①

虫に興味があります！
だから、
生物のゼミに
入りたいです♪



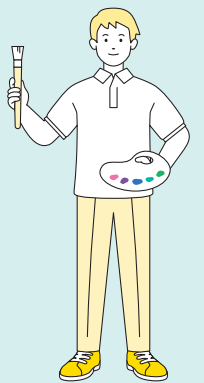
- ① 対象を多面的に捉える
- ② 発想を広げてぶつける
- ③ “自分”の解像度をあげる

探究の軸足を定める

- 昆虫の捕食について興味がある
▶「リビングラボ」
- 昆虫の体の構造を利用した介護の在り方
▶「アイサイエンス」
- 世界で「蝶」はどのような存在として受け入れられてきたか
▶「ホモ・スコラ」
- 災害時の保存食としての昆虫食
▶「DE&I」
- 昆虫の分布を投稿から作成
▶「DAL」
- 蝶の飛行メカニズムから作る新しいドローン
▶「ネクストラボ」

興味とゼミのマッチング例②

芸術が好きで、
よく美術館に行きます。
だから芸術系のゼミに
入りたいです。



芸術の研究がしたいのかな??

本当は芸術の何に興味があるのでしょうか?

- 岩絵の具や油絵の絵具が空気中の雑菌などから受ける影響を調べ、劣化しない絵具を開発する。
- 人が2D・3Dの芸術作品を鑑賞したとき、どのような脳の働きがあるかを研究し、「傑作」と判定される要素を抽出する。
- Museumの展覧会におけるテーマやポスターの制作方法を分析し、入場者数の確保に苦勞しているMuseumをいかに人気の館にするのか研究する。
- 災害時における芸術作品の保護について考え、大きな災害があったとしても地域社会に貢献できるMuseumの在り方を探る。

「好き」と向き合い、突き詰める。 ゼミが育む無限の好奇心と行動力

サレジアン本科クラスの軸であり、強みとなる「ゼミ」。
入学1年目のプレゼミでは、夢中になれる研究テーマをどのように決めていったのか？
2年目のゼミ研究では、どんな試行錯誤と発見があったのか？
ゼミを通して学んだことや今後の目標など、在校生と先生が大いに語り合いました。

妥協せず、とことん話し合える環境

市橋先生 M.HさんもR.Sさんもゼミで素晴らしい成果を上げているけど、どのゼミに入りたいかは最初から決まっていたのかな？

M.Hさん 入学した頃は正直、自分が何を探究したいのかわかりませんでしたが、ゼミ体験を受けたとき、エクセルを使ってデータを予測する「DAL」に興味がいきました。私は性格的にじっくり時間をかけて考察するよりも、結果（データ）を見ながらそれを元に「なぜ？」と次に展開していくほうが合っているなと思って「DAL」を選びました。

R.Sさん ぼくも納豆菌の培養や起業など3つのゼミを体験しましたが、どれも知らない世界なので純粋に楽しかったです。ただ、ゼミを決めるための志望理由書を提出したとき、「具体的に何をやりたいのか、この志望動機では見えてこないよ」って先生に言われてしまって。クラスの中で自分だけゼミが決まらず焦りましたが、先生と面談をする中で次第に自分の好きなことが見えてきました。

吉田先生 担任の先生から面談で「ゼミや勉強とは別にSさんの好きなものを3つ教えて」って聞かれたんだよね。

R.Sさん はい。猫とゲームとシャーペンって答えたら「シャーペン!？」と驚かれました（笑）。その面談がきっかけで、参加した体験ゼミとはまったく違う「スケーリングラボ」に所属することになりました。

市橋先生 Sさんの例もそうだけど、本校の特徴のひとつが「面談」だと思う。生徒と先生が最後まで妥協せず、好きなことを見つけるためにとことん話し合う。せっかく4年間同じテーマで学べるのに、途中で興味を持ってなくなったら悲しいからね。

音楽と気象データとシャーペン

市橋先生 2年生になると本格的にゼミが始まるけど、研究テーマはどうやって決めたの？

M.Hさん 私は音楽が好きなので、音楽に関連した内容にしたいと考えました。でも音楽とデータをどう結びつけたらよいのか分からず、先生に相談してアドバイスをいただきました。

増田先生 「例えば音楽と気象データを組み合わせてみたら面白そうじゃない？」という話をしたよね。



【ゼミ紹介】

学問領域	呼称	内容区分／キーワード	アドミッションポリシー
自然科学	リビングラボ	生命科学(動物)(植物)(菌)(農業)(食品)(繊維)	生き物の特性で社会に貢献したい、生き物に貢献したい人
	アイサイエンス	ヒト科学(医学)(薬学)(ヘルスケア&スポーツ)(心理)(ヒト)	ヒトそのものについての探究を深めたい人
	スケーリングラボ	無機・現象科学(物質)(宇宙)(建築)(災害)(エネルギー)(気象)(音楽)	大きなものや小さなもの、あるいは目に見えない力など、あらゆる見えないものに対して深めたい人
人文社会科学	ホモ・スコラ	文化学(言語)(メディア)(宗教)(芸術)(音楽)(表現・表象)(心理)(歴史)(文学)	「人」はどこからきて、どこに向かうのか。人の在り方を探り、「豊か」な未来を創造したい人
	ビジョナリーキャピタル	経済経営学(経済)(マーケティング)(社会イノベーション)(行動心理)	世の中の「わがまま」を追求・実現するビジネスの開拓者
	DE & I	社会探究学(社会福祉)(国際問題)(政治・環境)(防災)(教育)	自分が本気で向き合いたい社会の課題を見つけ出し、まだ見ぬ解決策を作り出したい人
数理情報プログラミング	コーディングデザイン	ロボット&ゲーミング(ソフトウェア)(アプリ)(ロボット)	プログラミングで、より「楽」な世界を創り出したい人
	DAL	データサイエンス(IoT)(AI)(ビッグデータ)(音楽)(SG)(統計)(機械学習)	データを使って、世の中を知り、未来予測したい人
	ネクストラボ	クリエイティブ(CG)(VR)(AR)(映像)(音楽)	あらゆるアートについてデジタルでアプローチして人々に感動を与えたい人

M.Hさん なるほど!と思い、「地域の気温差による音楽の流行の違い」を個人テーマにしました。“温暖な地域と寒い地域で好まれる音楽は違うのか”をテーマに、流行曲100曲をサンプルにしてエクセルにデータを入力。その結果からさまざまな考察をしました。

R.Sさん ぼくの個人テーマは『最強のシャーペンをつくる』こと。中学受験がきっかけでシャーペンに興味を持ち、今では50本以上を収集しています。“筆記具でそんなに差が出るの?”って思うかもしれないけど、自分に合った書きやすいペンを探すのって意外とむずかしいんです。書きやすさは机や椅子の高さ、使う人の身長にも関係してくるので、あらゆるメーカーのシャーペンを研究しています。

本久先生 研究って成果が見えないうちは不安になることもあると思うけど、2人はどうやってモチベーションを保っているの？

R.Sさん 『週間S』かな（笑）。週末課題でシャーペンについて図解付きのレポートを作成したら、先生方から好評だったんです。翌週も別のシャーペンについて書いたら、先生から「週間S、決定だね!」と言われてシリーズ化が決定し、毎週校内に貼られることになったんです。

M.Hさん 私は研究の目的が見いだせず、中間発表で自信を持ってプレゼンできなかったんです。でも先生方からフィードバックを受けて道筋が見えました。その後、先生に「1人ですごい内容の研究をしているね」と褒められたのが本当にうれしくて。そこからグッとモチベーションが上がり、学園祭で賞をいただきました!

増田先生 Hさんが朝早くから大量のデータ収集に取り組んでいる姿を見ていたからね。それも大きいかな。

好奇心が刺激し合い、燃え上がる

市橋先生 今後について何か考えていることはある？

M.Hさん つくばScience Edgeでオーラル発表をしたいです。オーラル発表の選抜メンバー8名の中に入るためにも、今の研究をもっと深掘りして、さらに説得力のある裏付けデータを揃えたいです。

R.Sさん 目標は“最強のシャーペン”を作り、シャーペンの隠れた魅力をより多くの人に伝えたいです。最終的に自分のブランドを持てたら最高ですね。そのためにCADも覚えたい。

吉田先生 2人が話してくれたように、やりたいことを自由にできる環境がサレジアンの魅力だね。自分の好きなことを堂々と公言して、それを友人や先生と熱く語れる環境は教師にとっても刺激的です。

増田先生 課題にしる発表にしる、いくら模範的な内容でも本人の熱い思いが見えなければ意味がない。逆に模範的でなくても、生徒が真剣に向き合った痕跡が見えれば、サレジアンはそこを評価したいと思います。

M.Hさん サレジアンのいいところは、何よりも先生が一人ひとりの生徒と向き合ってくれること。先生たちと一緒にいる時間が長いと本音を言えるし、相談できるのもうれしいです。

本久先生 生徒の好きなことを先生がちゃんと知っているって、案外むずかしい。それができているのは、先生が生徒と本気で向き合っているからだと思います。

R.Sさん ゼミで自ら考える習慣が身につく、やる気や自信にもつながっています。クラスメイトとも気軽に相談し合えて、「そんな研究やっているの? すごいね」と互いに刺激し合えるんです。他の学校に行っていたら、今の自分はいないですね。

市橋先生 学問は青天井。これは一般教科も同じで、学問の楽しさを生徒に伝えながら、教師自身も楽しんでいるのが本校だと思う。生徒の胸の奥にある火種に先生が火をつけることで、好奇心がどんどん大きく燃え上がる。これこそがパンフレットにもある「本科生よ、狂いたまえ」だね。

リフレクション

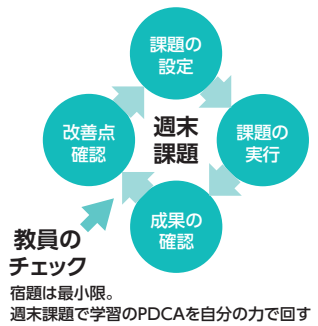
振り返りで自分をアップデート

新しい体験をした後の振り返りこそ、自分を見つめ直すチャンスです。振り返りとは、ある体験をして、その体験に対する自分の考えを持つこと。自分の考えは過去のどんな経験から生まれたのか? そこに隠された自分の想いは? そして自分が大切にしている価値観は何か? この毎度の振り返りで自分を客観視し、自分をかたち作るモノを蓄積して土台を強くすることで、新たな考えを持つことができます。21世紀を生き抜くアイデンティティを自分で見つけませんか。



週末課題

本科クラスはみなさんがイメージする「宿題」は極力減らしています。なぜなら「やらされる勉強」を積み重ねても、やがて来る受験や社会に出てからの成長につながらないと考えているからです。大切なのは、「自分にとって必要な学びとは何か」を考えること。これに一人ひとりが取り組むよう指導しています。その最たる例が「週末課題」です。1冊ノートを用意し、週末に一人ひとりが課題を設定して取り組み、週明けに提出。ニュースを自分なりに調べてくる生徒もいれば、先生たちが用意した思考力問題に挑戦する生徒もいます。こうした積み重ねが学習の自走を促すと考えています。



独創性×好奇心×革新性で 社会課題に挑む

MEDICO(メディコ)の由来は「Mastery Education for Dedication with Innovation, Curiosity, Originality.」

独創性と好奇心、革新性を持って、社会に貢献するために必要な技能や資質を完全習得することを目標として設計された教育プログラムです。



21世紀に医学を志す者には、医学に関連するあるいはその周辺の科学技術に対する高いリテラシーをもつことが重要であり、その中でもICT機器の発達に伴う医療技術の革新は目前に迫っています。医学だけでなく世界に存在する社会問題は人々のさまざまな行動が非常に複雑に絡み合った結果であり、正しい洞察なくして、その課題を解決するための方策を考えたとしても別の課題を引き起こす可能性が高いでしょう。

以上のことから、〈医療〉に携わろうと志す者には「革新に適応するだけの科学リテラシー」が、〈社会課題〉を解決しようとする者には「課題を経緯から紐解く力」がそれぞれ求められます。これらの力は、「数学・科学」を中心とした学びによって包括的に鍛えることができると、私たちは確信しております。その確信を現実にするためのプロジェクト“MEDICO”がスタートします。

プロジェクト展開イメージ

1年次

本科クラス

2年次～

本科クラスに所属しながら、特定科目をMEDICOクラスで授業を受講する

文理の学問体系を超え、現代の学問の隅々に根を這わせていく 学びのMEDICOクラス授業

MEDICOでは、人間や技術に敬意を持ち、深い知性で社会全体の進歩にコミットできる生徒を求めています。このプロジェクトでの学びを活かして、医学やデータサイエンスといった切り口を中心に世界を前進させる力をもった人材の輩出をめざします。

MEDICO 授業風景

理 科



MEDICOにおける理科は現実を測定し、定量化することを通じてクリティカルな物の見方を習得する学びです。知識に基づく科学的洞察を活用して実験を設計し、収集したデータの緻密な分析を行うことで、知識だけで語らない、正しく現象を見つめて分析するサイエンスの姿勢を養います。

実際の授業では、科目や教科を横断しながら科学的洞察に磨きをかけていく展開を計画しています。哺乳類の基本的な体のつくりを実践的な活動を通して学び取り、ミクロのレベルで起こっている事象を実測と計算に基づく推論によって検討していくことや、電流と磁界の関係を応用した技術について実際に起こっている事象とシミュレーションとの差異を比較していきます。このようなそれぞれの単元に存在する問いに対する解を導く過程での科学概念の定着を図ります。高校段階では、この概念を基本としてそれぞれの科目専門性を高めていきます。

数 学



数学では代数、幾何、関数、統計の4領域で数学的思考に不可欠な定義、分解、比較、構造化、モデル化を学びます。MEDICOの数学はミクロレベルの詳細分析とマクロレベルの全体理解を行き来するシステムのアプローチに基づいており、複雑系を解明する楽しみを通じてロジカルな思考家を育成します。

「社会に必要な数学はない」を合言葉に、数学における学びが社会を変えるファクターになり得ることを念頭に授業を展開します。社会問題を実践的に解決するための構造物の設計に関数による可視化を用いてチャレンジする、あるいは数あるデータの相関性についてより踏み込んだ分析を実施し、新たな知見を獲得するなど多くの教科内領域横断、教科間横断を実施して最終的に社会と数学のつながりへの気づき、高い数学リテラシーを育みます。

情 報



【ファクトからのエビデンス創出】と【コンテンツからコンテキストの生成】、これがMEDICOにおける情報の学びの在り方です。生徒が自身で厳選したデータセットから洞察を抽出し、生成系AIと協働して新たな価値を創造します。この実践を通じて、生徒はデータとのクリエイティブな向き合い方を身につけます。

データサイエンスに特化することで、創造性に富んだ成果を生み出すことができます。MEDICOの「情報」の授業では、オープンデータベースを利用して実践的なデータマイニング手順を学ぶと同時に、機械学習ライブラリを活用します。統計的手法だけでなく、その背後にある理論や原理に対する理解も深めることで、単に統計モデルを適用するのではなく、データから新たな価値を創出するためのメカニズムを探究します。授業を通して、DXIによる社会変革と貢献をめざす人材へと成長することができます。

*2025年度入学生が中学2年次から初めて実施するプログラムのため、内容は変更になる可能性があります。

*MEDICOへの進級には、入学試験でMEDICO入試を受験し合格する必要があります。
本科入試で入学した場合も、定員等を考慮して成績や志望理由に基づきMEDICOへの進級も可とする場合があります。

Globalization Thrives Here

Do you want to be heard?
Do you think differently?
Do you want to make the world a better place?

We do, too.
Welcome to our Global Community!

英語レベルに合わせた2つのグループ

英語によるロジカル・クリティカル・クリエイティブな思考を深め、さまざまな発表スタイルで発信する力を育てます。
英語・数学・理科・社会の授業は、英語力に応じて「スタンダード」と「アドバンス」の2グループに分けられます。スタンダードは、入学時

の英語力は問わず、これから語学力を身につけて国際的に活躍したいと望む生徒のためのグループです。ハイレベルな英語力を前提とするアドバンスでは、数学・理科・社会の授業も英語で行われます。

*ホームルームおよびその他の教科のクラスは、英語力に関係なく編成されます。

	Standard	Advanced
想定する生徒像 (入学時)	グローバルな舞台での活躍を見据え、これから英語をマスターしたいと考える英語へのモチベーションが高い生徒	帰国生やインターナショナルスクール出身で、引き続き英語で学習を深めていきたいと考えている生徒
入学時の英語力	問わない	CEFR B1／英検2級／IELTS 4.0-5.5
授業時の言語	英語のみオールイングリッシュ	英・数・理・社の4教科がオールイングリッシュ
英語到達度の目安	【1年修了時】CEFR A1～A2レベル／英検3～英検準2級 【6年修了時】CEFR B2レベル／英検準1級～	【1年修了時】CEFR B2～C1レベル／英検準1級～ 【6年修了時】CEFR C1レベル／英検1級～

Standard

	月	火	水	木	金	土
1	美/音	数学	国語	理科	宗教	体育
2	美術	音楽	社会	数学	技術・家庭	国語
3	国語	体育	English	数学	LHR	理科
4	技術・家庭	理科	数学	English	English	社会
5	体育	English	SAP	English	理科A	
6	English	English	SAP	社会	数学	
7	English		国語	数学		

Advanced

	月	火	水	木	金	土
1	美/音	Science	国語	Math	宗教	体育
2	美術	音楽	Social Study	Math	技術・家庭	国語
3	国語	体育	English	Science	LHR	Science
4	技術・家庭	Math	Math	English	English	Social Study
5	体育	English	SAP	English	Science	
6	English	English	SAP	Social Study	Math	
7	English		国語	Math		

カリキュラム

	1年	2年	3年
国語	4	4	5
数学	6	5	5
社会	3	4	4
理科	4	4	4
音楽	1.5	1.5	1.5
美術	1.5	1.5	1.5
保健体育	3	3	3
技術・家庭	2	2	2
英語	8	8	8
宗教	1	1	1
総合(SAP)	2	2	2
ホームルーム	1	1	1
合計単位	37	37	38

必修
必修選択

4年	
現代の国語	3
言語文化	2
地理総合	2
歴史総合	2
数学I	4
数学A	2
化学基礎	2
物理基礎	2
生物基礎	2
英語コミュニケーションI	4
論理・表現I	3
宗教	1
体育	2
保健	1
情報I	2
総合(SAP)	2
ホームルーム	1
音楽I	
美術I	2
書道I	
合計単位数	39

5年	
論理国語	3
英語コミュニケーションII	5
論理・表現II	3
宗教	1
公共	2
体育	2
保健	1
家庭基礎	2
総合(SAP)	2
ホームルーム	1
現代文演習(2)・英語演習(2)	4
数学II	
古典探究	4
数学B(2)・国立古典(2)	
日本史探究	5
世界史探究	
理科基礎演習	2
数学IA演習	
情報II	
音楽II	2
美術II	
書道II	
合計単位数	39

6年	
論理国語	2
文学国語	4
古典演習	4
英語コミュニケーションIII	5
論理・表現III	4
英語演習	3
宗教	1
体育	3
ホームルーム	1
日本史探究	
世界史探究	4
政経(2)・倫理(2)	
日本史演習	
世界史演習	
数学演習I	2
音楽III	
美術III	
書道III	
国語演習	
数学演習II	2
理科基礎演習	
合計単位数	35

※各クラスの学習内容およびカリキュラムは2025年4月現在のものです。
今後、変更になる場合がありますことご了承ください。

英語で思考し、多角的な視点を養う

サレジアン・アカデミック・プログラム(SAP)は、インターナショナルクラス独自のプログラムです。週2時間、インターナショナルティーチャーが主導し、スタンダードとアドバンストの生徒が混合するかたちで取り組みます。

このクラスで最初に学ぶことは、多角的な視点をもつことの大切さです。ある物事や事象をパーソナル、ローカル、ナショナル、グローバルと視点を変えて捉える力を養い、疑問を持つことや質問をすることの意義についても学びます。情報収集と分析、グラフの読み取りと作成、ライティング、スピーチ、プレゼンテーション、ディスカッション、ディベートなどの実践を通して、英語で思考し世界に発信する力を養います。

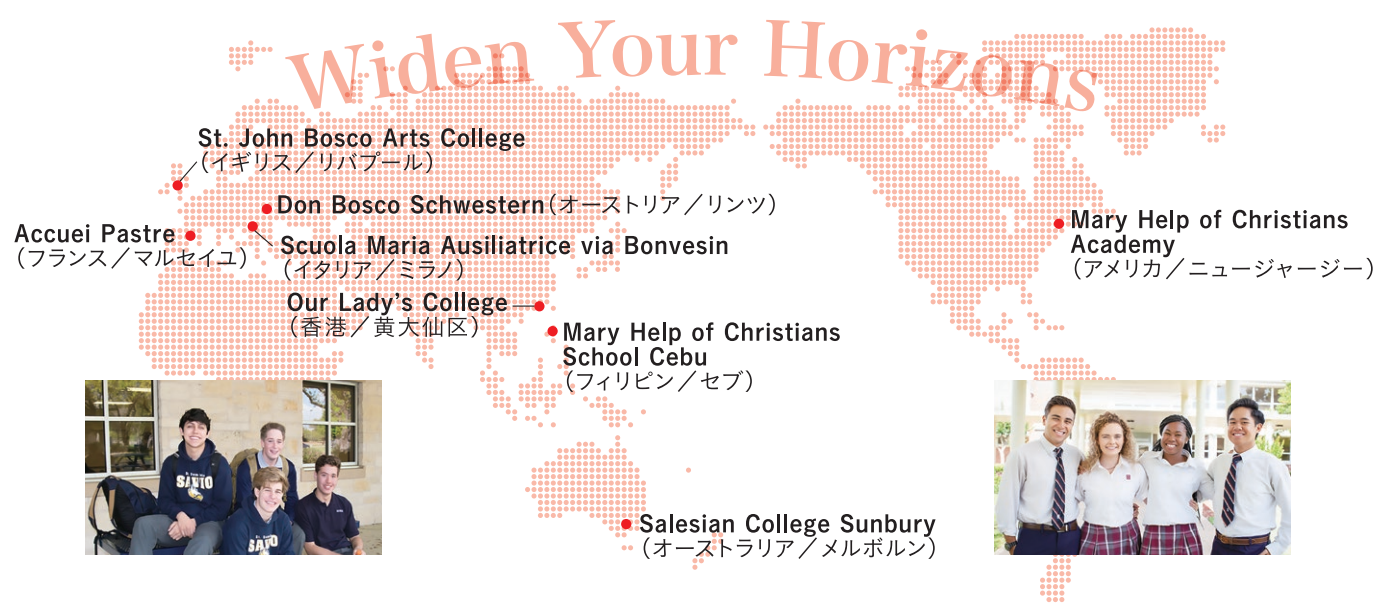
中学3年間の学び

文化学 (Cultural Studies)			環境問題 (Environmental Issues)			社会問題 (Societal and Global Issues)		
中1			中2			中3		
テーマを 探究する	異文化や 多様性	グローバリ ゼーション	環境問題に ついて学ぶ	持続可能性 を考える	自分ができる ことを考える	地球規模の 問題と 世界政治に ついて学ぶ	問題解決法 を考える	国連と 国際機関に ついて学ぶ
クラス活動			クラス活動			クラス活動		
グループ ディスカッション	情報の収集 と分析	ビデオ作成	パネル ディスカッション	研究	環境 プロジェクト のデザインと 提案	ディベート	スピーチ	校内 模擬国連
探究テーマを決める		研究レポート の書き方	研究レポートを書く		プロジェクトの デザインを書く	ポジションペーパーを書く		

国際交流

世界97カ国に広がるサレジアンのネットワークを活かし、世界中の兄弟校と国際交流を行います。さまざまな国の同世代の若者と、SAPのテーマでもある文化学や環境問題、社会問題等についてディス

カッションし、意見交換することで、多角的な視点で物事を理解する力と問題意識を高めていきます。



Advanced英語

Learning from Literature

Why do we read the novels in English class?

It can start with the idea that, "There is more to a book than just a good story". This idea focuses on how learning to read with a critical eye and an understanding of language as an art form a reader can experience the many levels of universal truth and experience that comes from great novels. Going beneath the surface of the story a reader can learn about human nature in how characters respond to conflict and grow as people. Readers can experience different worlds from safe distances and develop greater empathy for the lives of others. The novel is a vessel which hides in its words a chance to learn how others can think and to celebrate the diversity in experiences and opinions.

Novels are chosen as a guiding reference in our English classes. They connect unit themes that thread through each term and unify each year of AG English. With thoughtful reading selections we can show students the unifying effect of literature as well as that of the human story.



The novel for
1st term



The novel for
2nd term



The novel for
3rd term

※中学2年Advanced英語で使用

英語授業は3段階のレベル別で実施

「スタンダード」では、圧倒的な英語の授業数とオールイングリッシュの学習環境により、ゼロベースの英語力を着実かつ飛躍的に伸ばします。「インターメディエイト」では、ある程度の基礎英語力を持つ生徒が、英語による確かな思考力を身につけながらアドバンストレベル

をめざします。「アドバンスト」はすでにある高い英語力を活かし、英語圏現地校と同レベルの授業で4教科すべてを学びます。ステップアップの機会は各学期ごとにあります。

※2025年度中学3年Intermediateでは、数学もAll Englishで展開中。

Standard	Intermediate	Advanced
インプットとアウトプットを バランスよく学びます	英語で思考し表現する術を磨きます	英語圏現地校と変わらぬレベルの 授業を実施します

中学3年次：インターナショナルクラスの集大成

シドニー研修 (8日間)

シドニーは多文化共生が活発な国際都市として、多様な文化や言語、宗教が共存する社会を築いています。本校のインタークラスは多様性を大切にし、様々な価値観を理解し、尊重する姿勢を学園生活を通じて培っています。たとえばSalesian Academic Program(SAP)では文化学、グローバリゼーション、環境問題、社会問題について3年間で学び、探究し、分析し、プレゼンをしていきます。そうした学びの集大成として多文化共生国際都市であるシドニーを訪問し、現地にてSustainable Future Programという特別コースを受講し最終日には各自が英語でプレゼンをするのです。期間中は大学の学生寮に滞在するだけでなく、シドニー大学、ニューサウスウェールズ大学はじめ複数のキャンパスツアーを通じて現地大学生とのディスカッションや交流の時間をもち、自身のキャリア計画についても考えを深めていきます。この研修は生徒の中学時代の学びの集大成であるだけでなく、各自の高校・大学、そしてその先のビジョンを明確にする機会にもなるのです。



シドニー大学



オペラハウス

DDP(デュアル・ディプロマ・プログラム)

インターナショナルクラスでは、サレジアン1期生が4年生になる2026年度より「デュアル・ディプロマ・プログラム」を導入する予定です。このプログラムを履修することで、本校の卒業資格と同時に海外の高校卒業資格を取得でき、国内大学と同様に海外大学へ進学する

選択肢を手にすることができます。またIELTS、TOEFL、SATなどの対策は、指導経験豊富なインターナショナルティーチャーがしっかりサポートします。

Beyond Borders: Your Future Through Overseas Universities

Aspiring to broaden their horizons at universities overseas, what unique learning paths are our students experiencing here at Salesian International School Setagaya? Read the interview with M.S and K.I, both in their third year of junior high school, to gain insights into their global futures and their perspectives on studying abroad. M.S shares her experiences in the International Class's "Standard" course (where English is the language of instruction for English classes), while K.I discusses his learning in the "Advanced" course (where English is used across English, Math, Science, and Social Studies). Additionally, we spoke with Michael Dulin, an English teacher, to learn more about the school's educational approach aimed at preparing students for overseas studies.

— What motivates you to pursue higher education overseas?

K.I : I want to study abroad because I am interested in other countries and their culture. I lived in London for seven years and really enjoyed it. Life and culture there are very different when compared to Japan.

M.S : I want to go and live overseas because I like the different atmosphere there.

— Intending to attend a university abroad, how are you preparing here at Salesian?

K.I : To me, university is still a bit away, as I am still in the third year at a junior high school, but I'm trying to do my best in as many subjects as possible.

M.S : I'm particularly studying English because I just started learning English in junior high school here. I want to continue studying for future studies.

— You already speak quite well.

M.S : Thank you.

Michael Dulin (Teacher) : At Salesian, we invite university ambassadors to the school for a seminar to prepare students for the possibility of studying overseas. Allowing students to get information directly or expEmc_Kowa_5855erience it themselves shows them what the university will be like. Then, all of a sudden, they might realize that there is an interest in the world outside of Japan.

K.I : Yes, I like that. We can understand other people's cultures and things that we don't know about.

Finding Your Fit: Interest and Engagement

— Mr Dulin, could you outline some important characteristics of applying to universities overseas?

M.D : It's not just about a test anymore. In the United States, for example, everyone is a good student for good schools – that's the basic level. So, you can't compete on academics alone.

You have to start thinking about who you are as a whole

person. Imagine a job interview. Your personal story in the application is crucial. Consider a challenging time you've faced and how you got through it. Those are the essays you'll write. You have to be really honest in them because it comes from experience with yourself and knowing yourself before you step out of the school.

— What are you interested in learning or majoring in at a university abroad?

M.S : As I like math and science, I want to study medicine or business.

M.D : If you want to study medicine, it's great to focus now. You can start looking for ways to get involved with the field from here on. You can find volunteer opportunities at hospitals, right?

M.S : Yeah, I can prepare for that!

M.D : So, the better you understand your real interests and what fits you, the more honestly your application speaks about you, and that's how you see yourself belonging there.

The Power of "PBL" and Empowering Students

— With this in mind, what do you think are the strengths or key aspects of learning at Salesian?

K.I : I think one of the strengths of Salesian is the PBL.

M.S : I agree. There is no such learning outside the school.

— Could you please explain PBL, Mr Dulin?

M.D : In Problem Based Learning, or PBL, students work together on a common problem, sharing ideas and

perspectives. This method places a strong emphasis on significantly developing their "LOGICAL," "CRITICAL," and "CREATIVE" thinking skills. It's very time-based, both in discussion and writing. Within about a 20-minute window, they produce a 5-paragraph essay.

K.I : Long essays are particularly difficult, but I understand that writing essays will be an advantage. I'm preparing for my future by challenging this.

M.S : Yeah, I think it isn't easy, but I am sure this helps me a lot.

Developing Independent Thinkers and Leaders

— The students really understand that PBL is tough, but also very important.

M.D : Yes. We're putting out challenges – open-ended questions. Then, students become the new creators of knowledge.

It's like they are figuring out how to develop it themselves. And in doing so, the next part is about making themselves leaders. Making it so you can come to their own conclusions without having other people tell you what they are.

Having that kind of strong trait, especially before stepping out into an international world, is going to be a huge benefit. That's where, especially within our school, we've realized that so much has happened, not just because I'm focused on English classes, but because we align everything throughout every single class, and then every single year is kind of built with connectedness.

日本語版はこちら



K.I (Advanced)

M.S (Standard)

DULIN, Michael
English Teacher



STUDY ABROAD

サレジアン国際学園世田谷の留学制度

留学制度は中学3年次から高校2年次にかけて、本科・インター問わずに任意で参加可能です。

特徴のある多様なプログラムの中から各自のキャリア計画と連動したものを選択し、学内外の学びのスタイルを自らデザインします。

〈中学3年〉

	時期(期間)	国	宿泊スタイル	内容
シドニー研修 (インター全員参加)	11月下旬～ 12月上旬 (8日間)	オーストラリア (シドニー)	学生寮	シドニー大学はじめ一流大学を訪問し現地大学生とディスカッション。また大学で探究プログラムを受講し、SAPの学びをさらに深める。プログラムの最後には英語でプレゼンテーションを行う。海外の大学の教育を知り、自身のキャリアについても考えを深める。
ターム留学	3学期 (6～8週間)	カナダ (トロント)	ホームステイ	参加者の英語力によっては現地高校の授業の受講可能。参加者自身が現地校が提供する豊富な選択授業の中から受講科目を設定。中学のうちに留学を経験することで視野が広がり、英語力をさらに伸ばすことが可能。

〈高校1年〉

	時期(期間)	国	宿泊スタイル	内容
キャリアツアー	夏休み (1週間)	アメリカ (西海岸)	学生寮	スタンフォード大学でワークショップに参加し、社会問題についてディベートを通して考えを深め、英語でプレゼンテーションを行う。また西海岸の一流大学を訪問しアドミッションの話聞く。さらに現地の大学生とディスカッションし、大学での学びとキャリアプランについて知見を深める。
交換留学	夏休み (3週間)	オーストラリア (メルボルン郊外)	ホームステイ	兄弟校Salesian College Sunburyに通学し、通常の授業を受ける。本校独自の兄弟校とのプログラム。
スタディツアー	春休み (1週間)	シンガポール	学生寮	ゼミ/SAPの集大成に向けて世界の諸問題・SDGsを解決するためのワークショップに参加。多文化社会を観る。シンガポール国立大学で行われるディベートに参加し、考えを深め、5年次の論文完成に活かす。

〈高校1～2年〉

	時期(期間)	国	宿泊スタイル	内容
長期留学	1年間 (高1夏～ 高2夏)	アメリカ イギリス カナダ オーストラリア	ホームステイ	現地校にて授業を受ける。現地での単位は本校において認められる。

*中3シドニー研修はインター必須。それ以外のすべてのプログラムは本科・インターともに任意で参加可能。



カナダ(トロント)



アメリカ(スタンフォード大学)



シンガポール(シンガポール国立大学)



CAREER SUPPORT

生徒の「やりたい」を引き出し進路サポート

現代社会では、知識を前提とした応用力や発想を転換する力が求められています。それに伴い、大学入試の在り方も大きく変わっています。本校での学習指導・進路指導は、こうした社会の変化・要請に対応したものであり、生徒の「やりたい」を引き出しながら、経験と対話によって生徒を導いていくものです。

本科クラスでは、ゼミやPBL型授業を通じて、総合型選抜などで必要とされるようなスキルも身につけます。また、PBL型授業のトリガークエスト(教員から投げかけられるテーマの核心に触れた問い)の多くは大学入試を参考にしながら作成されます。

インターナショナルクラスでは、海外大学への進学を視野に、身近な問題から世界の課題へと目線を上げていながら、受験に必要なスキルを身につけていきます。



〈本校の取り組み〉

「考え続ける力」を育む
本科／インターの学習活動

自ら設定した課題に取り組むゼミ
社会課題から視野を広げるSAP

〈入試で求められる力〉

課題発見／独創的解決能力

プレゼンテーション／ディスカッション能力

図書館・実験室利用／レポート執筆

在学中の論文執筆

本科クラスのサポート

「想定する進学先はどこですか」という質問に対して、本科クラスは、「生徒の第一志望です」とお答えします。私たちは有名な大学に合格させることを目標としているわけではありません。6年間かけて、学問と自分自身とを深掘りし、自身の興味と価値観を見つけ、Well-Beingを実現できる進学先へと後押ししていく。これが本科クラスのキャリアに対するポリシーです。



インターナショナルクラスのサポート

インターナショナルクラスには、海外大学に進学し、将来的に海外で働き活躍したいと望んでいる生徒が多く在籍しています。本校の英語で学び英語で思考する学びが、高校卒業後に国内外を問わず、自分の進路とキャリアを開拓する際には最大の武器になるはず。高校から始まるデュアル・ディプロマ・プログラムにより、海外大学はより身近な選択肢となります。





CLUB ACTIVITIES

本校のクラブ活動は、運動部・文化部とも基本的に中高が合同で活動しています。

「クラブ活動は自主的な課外活動であり、学校生活の基盤として成り立つ」という考えのもと、一人ひとりが活動の意義を考えることで、学校生活はより楽しく充実したものになります。それぞれが掲げる目標に向けて、学年の垣根を越え、切磋琢磨しながら活動に打ち込める環境づくりをめざします。

運動部 一覧

SPORTS CLUBS

- バスケットボール (男女)
- バレーボール(女)
- サッカー(男)
- 硬式テニス(男女)
- 陸上競技(男女)
- 卓球(男女)
- ダンス(男女)

文化部 一覧

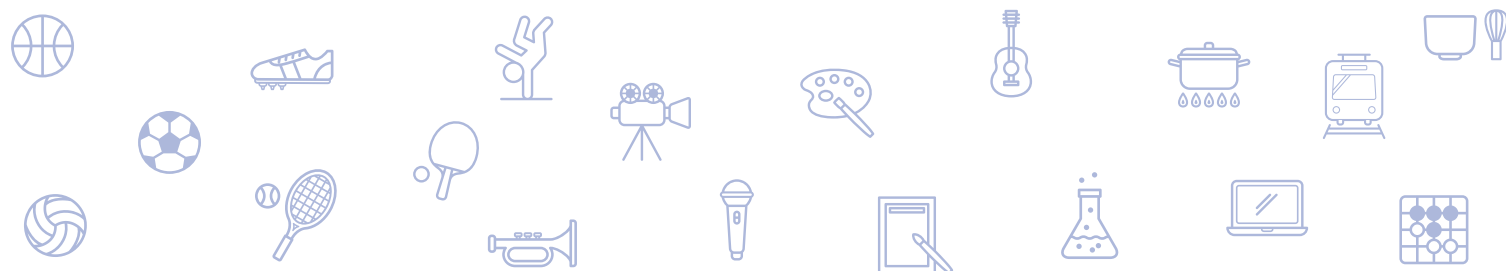
CULTURAL CLUBS

- 管弦楽
- 合唱
- 演劇
- 美術
- 書道
- サイエンス

サークル 一覧

CIRCLE / INTEREST GROUPS

- 軽音楽
- クッキング
- 鉄道研究
- 囲碁将棋
- eスポーツ
- 茶道



Join our clubs

バスケットボール部

男子バスケットボール部は、「BREAK THE LIMIT」をチームスローガンに都大会出場を目標としています。限られた練習日や時間の中で、激戦区を勝ち上がることは容易ではありません。そのため私たちには、バスケットボールに限らず学校生活をはじめとするすべての物事を「俯瞰的に捉え、他者よりも努力し、失敗を恐れず挑戦し続ける」生徒であり、選手であることが求められます。LogicalとPhysicalの限界を追い求め、サレジアン先頭の走り続けましょう!



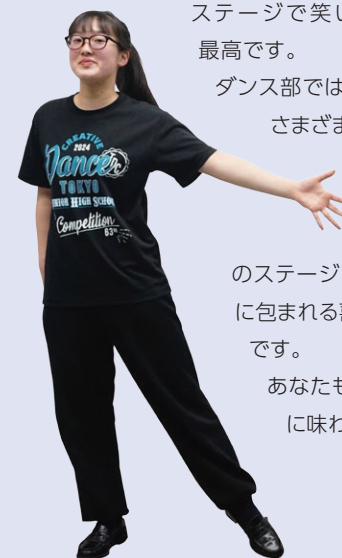
サイエンス部

サイエンス部は学年をこえて仲良く活動する、アットホームな部活です。活動はグループに分かれて進めており、「どんな研究をしてみたいか」を話し合い、探究テーマを決めます。その後に計画を立てて、実験に取り組みます。得られた結果を考察し、レポートにまとめて科学コンテストなどへの応募をめざしています。初心者でも安心して参加でき、科学への興味を深めながら楽しく探究できます。個性豊かな部員一同、お待ちしております!



ダンス部

ステージで笑い合える仲間がいるって、最高です。ダンス部では、ヒップホップやジャズなどさまざまなジャンルに挑戦しながら、週3日の練習に励んでいます。振りがそろった瞬間の一体感や、本番のステージで感じる光と音、そして拍手に包まれる喜びは、何度経験しても特別です。あなたも、そんな最高の瞬間と一緒に味わってみませんか?



軽音楽サークル

軽音楽部では、仲間と一緒に音楽を作る楽しさを日々感じています。ギターやドラムなど、自分に合ったパートを選び、放課後に練習中。文化祭や校内ライブでは、洋楽にも挑戦しています! みんなで音を合わせた瞬間の達成感は本当に気持ちいいです。あなたも、私たちと一緒に音楽を作る楽しさを感じてみませんか?





SCHOOL LIFE

年間を通じて行われる学校行事は、生徒が主体的に運営します。日頃から培ってきた「考え続ける力」を存分に発揮しながら、各行事に求められるものは何か、行事を達成するためには何が必要かを仲間とともに考え、実施に向けて各行事を具体化していきます。

サレジオン国際学園世田谷では、さまざまな行事を通じて生徒一人ひとりに活躍の場を提供することで、個々の問題解決能力と心の成長を促していきます。

年間行事



体育祭

学年混合のチームで、勝つためには何が必要かを考え、協働し、競技に挑みます。体育委員会を中心に、生徒が企画・運営を行います。

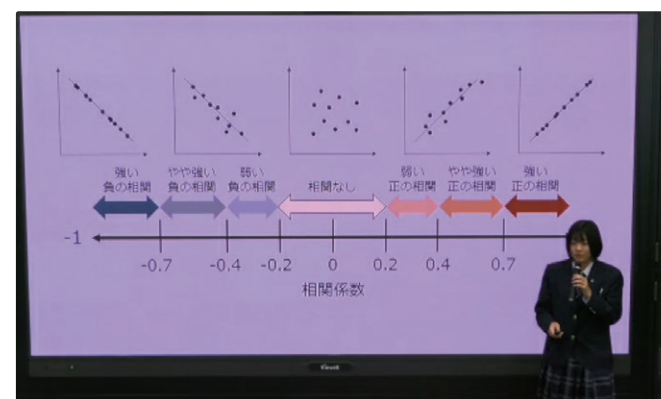


学園祭

生徒にも来場者にも学びある学園祭をめざし、実行委員会を中心に準備を進めます。生徒プレゼンやクラブ発表、生徒によるスクールツアーも実施いたします。

合唱コンクール

生徒が主体となって練習を行います。クラスごとにそれぞれ表現を工夫し、音楽を創り上げます。



Accademia Salesiana

ゼミやSAP、学校を挙げての探究成果発表会です。この日は保護者ではなく、先輩社会人として探究へのアドバイスをいただきます。

One day 生徒の1日



時程表

	月・水・木	火・金	土
登校	~8:25		
朝活動	8:25~8:35		
ホームルーム	8:35~8:40		
1時限	8:45~9:30		
2時限	9:40~10:25		
3時限	10:35~11:20		
昼食 昼休み	4時限 (土)	11:20~12:10	11:30~12:15
4時限(月~金)	12:15~13:00		
5時限	13:10~13:55		
6時限	14:05~14:50		
7時限	15:00~15:45		
ホームルーム・掃除	15:50~	14:55~	12:20~
放課後活動	16:30~17:45	15:35~17:15	13:15~15:45
完全下校	18:00	17:30	16:00

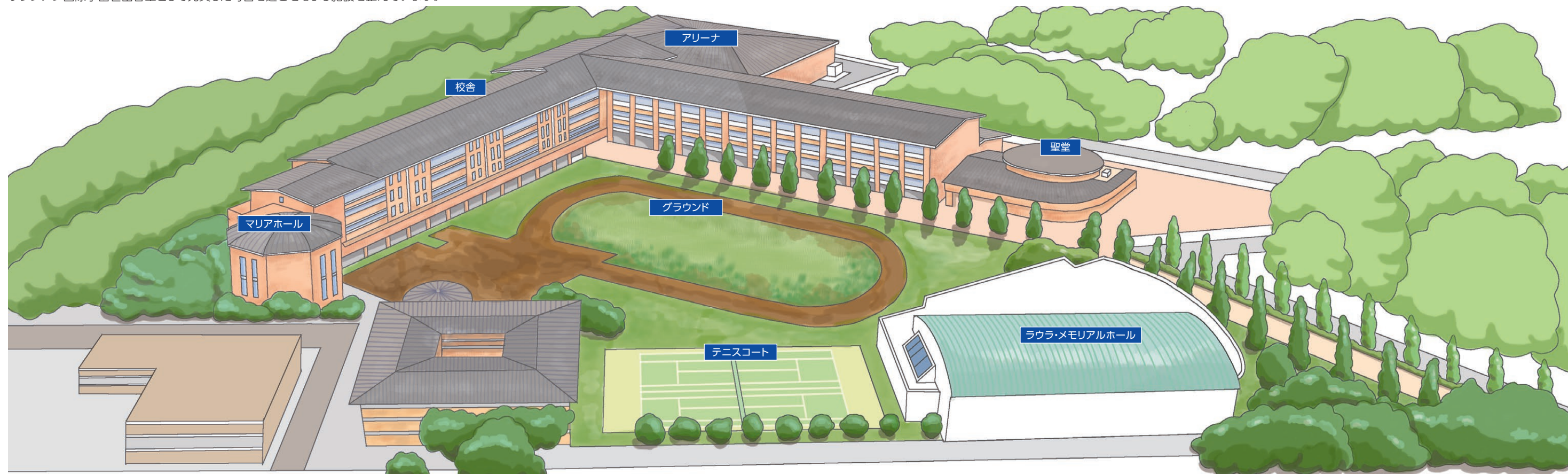


SCHOOL CAMPUS

世田谷の豊かな緑に囲まれたサレジオン国際学園世田谷キャンパス。2024年度には図書館をリニューアルし、蔵書へのアクセスだけでなく自習スペースやプレゼンやグループディスカッション、オンラインミーティングも行うことができるようになりました。2025年度には、全てのクラス教室にホワイトボード・プロジェクターの導入を予定しています。サレジオン国際学園世田谷生として充実した毎日を過ごせるよう施設を整えています。

カフェテリア OPEN!

2025年9月、カフェテリアスペースに食堂がオープンします。これまでのお弁当販売のほか、温かい食事メニューの提供もスタートします。大画面デジタルサイネージも完備し、学年集会やプレゼン発表など多彩なシーンに対応する先進的な施設へ進化しました。



施設・設備

- 1 校舎外観
- 2 聖堂
- 3 クラス教室
- 4 生物室
- 5 ラボ
- 6 アリーナ(体育館)
- 7 マリアホール
- 8 LIBERA
- 9 PCルーム
- 10 ラウラ・メモリアルホール





制服

SCHOOL UNIFORM

本校の学園カラーであるブルーを基調としたスタイリッシュなデザインの制服です。上下ともウォッシュابل対応、各所にストレッチ素材を用いるなど、毎日の使用でも清潔に着用しやすい作りとなっています。また共学化に伴い、ジェンダーレスの観点から女子の制服にスラックスを導入するなど、個々のニーズに合わせて自由にコーディネートできる点も大きなポイントです。



WINTER

SUMMER

〔学校指定品〕



ポロシャツ(白・紺)

夏服着用期間には、白・紺のポロシャツを着用することもできます。暑さや汗を考慮した速乾性のある生地を使用しているため、体温調節機能に優れています。



体操服(夏) 白・紺・紺パンツ

シャツは白色と紺色があり、土汚れの目立ちにくさやアンダーウェアの透けづらさなど、ニーズに応じた選択が可能です。速乾性にすぐれ、着心地もよい体操服です。



体操服(冬) ジャージ上下

体育指定用品はすべて「adidas」を採用しています。運動時の動きやすさや着心地だけでなく、スタイリッシュなデザインを兼ね備えています。



白衣

理科の実験時に着用します。本科クラスではゼミでも着用する場合があります。胸にサレジアン国際学園世田谷のロゴをあしらった、シンプルで飽きのこないデザインです。



女子用スラックス

ジェンダーレスの観点から導入したスラックスは、きれいなシルエットが特長。洗練されたデザインに加え、登下校時の防犯対策や真冬の防寒対策にも有効です。

保護者のみなさまへ

INFORMATION

サレジアン国際学園世田谷ではお子様が安心して学園生活を送れるよう、安心・安全のサポート体制を整えています。教育理念でもあるアシステンツァの精神のもと、学校と保護者が連携をとりながら、温かくサポートしていきます。

ご家族との緊密な連携



緊急時の対応

災害時はもちろん、悪天候による休校などの連絡は学校連絡システム「BLEND」を利用した緊急通知にて一斉配信を行います。



防災管理

学園と家庭の対応確認のための「防災カード」を各家庭より提出していただき、万全を期しています。



欠席連絡

学校連絡システム「BLEND」を利用し、スマートフォンやパソコンから欠席・遅刻連絡が行えます。



悩みごとの相談

常駐するカウンセラーと入学後すぐに顔合わせを行いますので、生徒たちはいつでも相談することができます。希望があれば保護者のご相談も承ります。



学年通信

ロングホームルームや活動の様子、今後の予定などについては、「学年通信」を通して順次お知らせしていきます。



授業参観・保護者会

年に1回、授業参観を行っています。このほか保護者会・面談が年に3回程度あり、生徒の学校での様子を保護者と共有しています。

Q & A

Q 本科とインターナショナルの進路の変更は可能ですか？

A 可能です。無条件ではありませんが高校進学タイミングで進路変更できるよう整えています。

Q 携帯電話は持ち込めますか？

A 携帯電話は持ち込むことができます。校内では電源を切り、原則として個人のロッカーにしまっておきます。

Q 防災対策はどうなっていますか？

A 全校生徒分として3日分の食料、水、毛布などを備えています。また衛生面を重視し携帯トイレ(約2万回分)を用意しています。施設内には震度4以上を予知した場合、全館放送が流れ、迅速に避難できるようになっています。

Q 土曜日はお休みですか？

A 週6日制を採用し、土曜日は4限まで授業を行います。その後、クラブ活動がある生徒はクラブ活動に参加します。

Q 自転車通学は可能ですか？

A 可能です。保険に必ず加入し、講習を受ける等のルールがあります。全校生徒の15%ほどが自転車通学です。

Q 昼食はどのようにしていますか？

A お弁当持参が原則ですが、カフェテリアスペースがあり、2025年2学期から食堂も利用可能となります。また自動販売機でおいにぎり・パンなどの軽食も購入できます。

Q 学費はどのくらいかかりますか？

A 初年度納入金の目安は、約180万円です(入学金・制服代・授業料・宿泊学習費・タブレットPC代等)。2年次以降の学費は、年間90万円程度です(希望制の行事参加費等は除く)。

MESSAGE

育みたいのは 新しい何かを作り出す力

21世紀にはいつ4分の1になろうとしています。そして新しいテクノロジーが次々に誕生して社会に変革をもたらしています。一方で不確定な要素が世界の至る所に見られます。時代が劇的に動いている中で求められる力は今までとは違うものになっています。憶えること、理解すること、再現できることなどに加えて新しい何かを作り出す力が必要になっていると思います。それにともなって中高時代の学びも変わらなければなりません。サレジオン国際学園世田谷はグローバル時代に活躍するのに必要な力を先進的教育で実現しています。人生で最も成長できるこの時期に本学園でその時間を過ごしてみませんか。



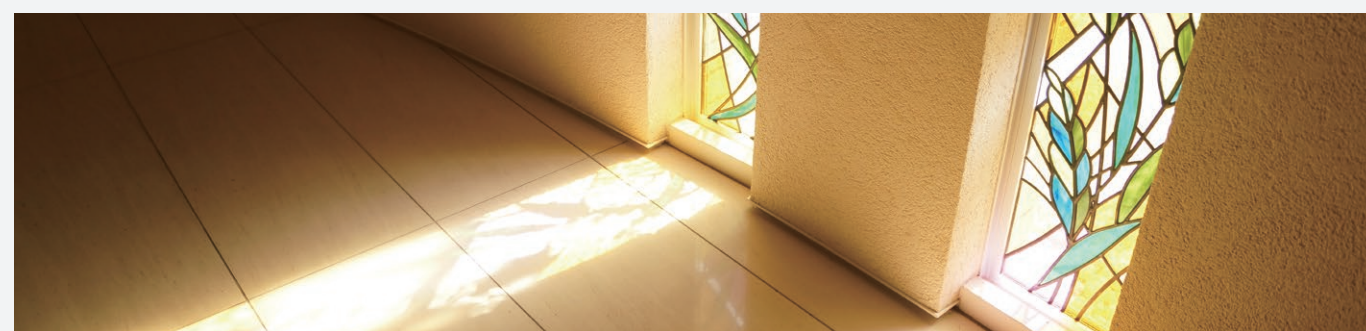
サレジオン国際学園世田谷
中学高等学校
学園長：大橋 清貫



サレジオン国際学園世田谷
中学高等学校
学校長：Sr. 森下 ワカヨ

真に豊かな人生を 歩むために

本校の教育理念である「予防教育法」は、安心感と信頼に満ちた環境の中で、生徒が主体的に「善」を選び取り、自他を大切に、人々に貢献できるよう導く教育です。大橋学園長を迎えての新しい先駆的な教育は、創立者教育がめざした理念と共鳴するだけでなく、これまで以上にその理念の実現に向かっていくと実感しています。この21世紀の真っ只中であって、「真に豊かな人生」を歩んでほしい、その願いのもと、本校は進化し続けています。



HISTORY

- 1954年 3月** 学校法人星美学園第二小学校として目黒区碑文谷2丁目に開校
- 1956年10月** 学校法人目黒星美学園と改称
- 1960年 4月** 世田谷区大蔵に目黒星美学園中学校を開校
- 1963年 4月** 目黒星美学園高等学校を開校
- 1991年 4月** 目黒星美学園創立35周年記念式典講堂落成式
- 2006年 4月** 学校法人目黒星美学園50周年
- 2007年 4月** 目黒星美学園創立50周年記念事業の一環として新校舎着工
- 2011年 3月** 新校舎竣工
- 2020年 4月** 中学校開校60周年
- 2023年 4月** サレジオン国際学園世田谷中学高等学校へ校名変更 共学化

SALESIAN SISTERS

本校の設立母体であるカトリックの女子修道会「サレジオン・シスターズ」は、1872年に聖ヨハネ・ボスコ、聖マリア・ドメニカ・マザレロによって創立されました。イタリアのローマに本部を置き、現在世界97カ国に支部を設け、教育および社会事業に従事しています。本校でも現在、オーストラリアのメルボルンにある「サレジオン・カレッジ」との交換留学提携や、フィリピンボランティア研修時には、マニラにある「ドンボスコ・スクール」を訪問するなど、世界のサレジオンの学校との結びつきを強めています。

世界のサレジオンの学校で教育活動の柱となっている「Assistenza(アシステンツァ)」は、教師が生徒と「共にある」という意味で、創立者聖ヨハネ・ボスコが実践した青少年教育のモットーです。教員は生徒との日々の関わりを通して信頼関係を築き、生徒一人ひとりが本校で味わった「愛された体験・信頼ある関わり」を土台に学習に力を注ぎ、考え続ける力、言語活用力、コミュニケーション力、数学・科学リテラシー、心の教育によって「真の主体性」「真の自由」を手に入れ、21世紀に活躍する力「世界市民力」を育んでいきます。

